

いよこのもあか日和 びより





市長あいさつ

真岡市長 い だ 井田 りゅういち 隆一

みなさん、こんにちは。

みなさんは「もおかし」がどんなまちか、していますか。

このまちには、しゅうまつにはしる「SIL(エスエル)」、にほんいちの「イチゴ」、れきしある「もおかもめん」など、じまんでできることがたくさんあります。

そこでわたしは、たくさんのひとにこのまちのよいところをもっとしてほしいとおもい、このえほんをつくりました。

えほんのなかには、たのしいイベントやおもしろいばしょが、いっぱいできてきます。よみおわるころには、このまちのことがよくわかり、すきになっているとおもいます。ぜひ、「もおかし」のみりよくがたくさんつまったこのえほんを、かぞくやおともだちでたのしくよんでください。

そして、このまちのよいところやじまんでできることをたくさんはっけんして、わたしにおしえてください。

とうじょうじんぶつ 登場人物

わたしはいちこ、3さいのおんなのこ。いちごがだいすき。れきしのすきなおとうさんと、りょうりがとくいなおかあさん、でんしゃがすきなおにいちゃんの4にんかぞくです。おとうさんのおしごとで「もおかし」にひっこしてきたの。まだどんなまちかわからないけれど、たくさんおでかけして、まちをたんけんしたいなあ。あ〜たのしみ♪



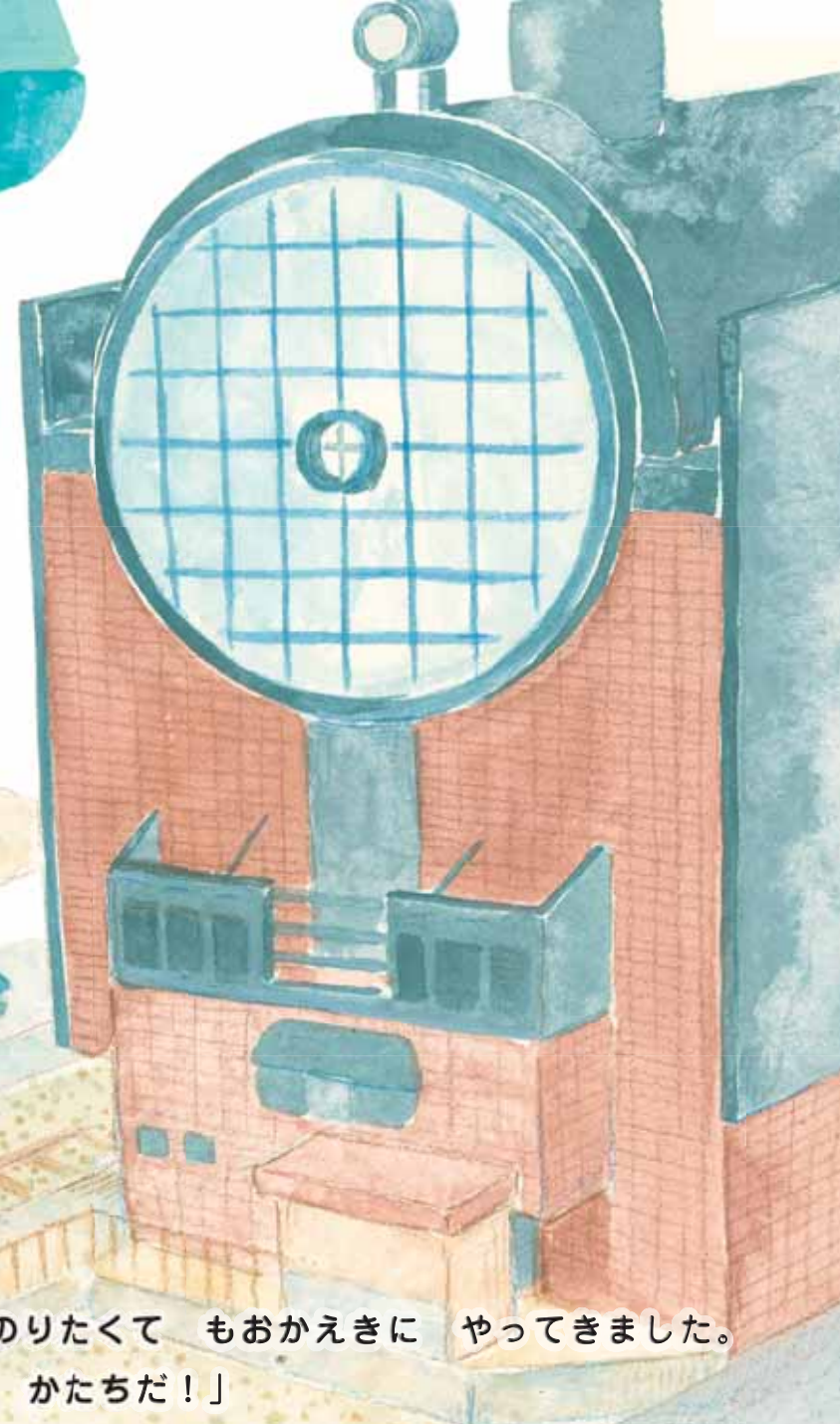
このくろねこは、「もおかし」にずっとすんでいるんだって。いろんなことをおしえてくれるんだけど、こえはこどもにしかきこえないみたい。なんかわくわくしてきちゃうね。



エスエル

SLのおはなし

きょうは SL (エスエル) にのりたくて もおかえきに やってきました。
「わあ！えきが きかんしゃの かたちだ！」
もおかえきに とうちゃくです。



SL (エスエル) のじかんまで もおかえきを みてまわります。
いまは つかっていない きかんしゃたちが てんじ されています。
その、おおきなこと! 「かっこいい!」と おにいちゃん。
いちこは おおきな SL (エスエル) に びっくり。



「これは D51 (デゴイチ) だね!」と、おとうさん。
「よし、たんげんだ! いちこ いくぞー!」と、おにいちゃん。
D51を ぐるりと みてまわってこようと いうのです。

たんけんをしていたら、
おにいちゃんと いちこは D51の
うしろのしゃりょうまで きてしまいました。
すると…



「あ、ねこ！」

「きかんしゃの ひみつ おしえてあげようか？」
ふたりとも しゃべる しろねこに びっくり。
でも、すぐに
「おしえて！」「いちこも！」





「きかんしゃたちは よるになると
みんなで おしゃべりを しているの、しってるかい？」
おにいちゃんも いちこも そんなわけないと
おもいましたが、なぜだか はっきりと
おもいうかべることが できました。
「みんなが なかよしなのは、むかし
ほっかいどうで いっしょに はしっていたからなんだよ。」





キューロウ
D51
スハフ

みんながいらははに
はしていたほっかいどう。
ゆきがたぶんふるところ。

キューロウは
もおか
きました

D51は
しずおかに
きました

スハフは
おだいばに
きました

じうはスハフは
えいめにも きました

それから ねこは じめんに
にほんのちずをかきました。

「あっちが ほっかいどう。ここが もおか。
いたいしてからは みんな べつべつの
ばしょで たいせつに されていたんだ。」
「へえ！ ねえ、ほっかいどうってさ…」
おにいちゃんが なにか いいかけたとき
「おにいちゃん、いちこ〜。」



「このことは ひみつだよ…。」
ねこの こえは おとうさんと
おかあさんには きこえなかったようです。
「たんけん たのしかった？」
「もうすぐSLがやってくるじかんだよ。」

「ポーッ！」

SLが けむりを はいて やってきました。

しゅーっっ どっどっどっ

まるで いきもののようです。

「うわー、かっこいいなあ！」と

おにいちゃん。





でも いちこは びくびく。
おどろいて ドキドキです。
だって くらくて おおきくて
けむりが もくもくしているんだもの。



SLにのっても いちこは まったくうごきません。
おとうさんも おかあさんも しゃしょうさんも
もう おてあげです。
そのとき、「わあ！ すごいぞ、いちこ！」
と、おにいちゃん。
いちこが、ちらっと おにいちゃんのほうを みると…





「わあー！！」

まどのそとに なのはなばたけが ひろがっていました。さくらも まんかいです。
てをふっている ひとたちも たくさんいます。

「おーい！」おにいちゃんが てを ふりました。

「おーい！」いちこも にっこり えがおになって、てを ふりはじめました。

真岡鐵道の アレコレ



「夢とロマン」を育むSL

真岡鐵道は、「真岡線」の名称で、全国初のローカル線として明治45年に誕生し、国鉄、JRを経て第3セクターとして引き継がれてきました。昭和60年代、赤字ローカル線として廃止の危機もありましたが、現在も高校生の通学の足として、2市3町を結ぶ大切な生活路線となっています。真岡鐵道の一番の魅力は、21世紀を担う子どもたちの「夢とロマン」を育むSLです。

現在運行されているSL



C12-66号

昭和8年に製造され、福島県川俣町で保存されていたものを芳賀地区広域行政事務組合が譲り受け、復元修復の後、平成6年3月に運行を開始しました。1999年にはNHKドラマ「すずらん」の撮影でも活躍しました。



C11-325号

昭和21年に製造され、新潟県水原町(現:阿賀野市)で保存されていたものを平成8年に真岡市が譲り受け、復元修理の後、平成10年11月に運行を開始しました。

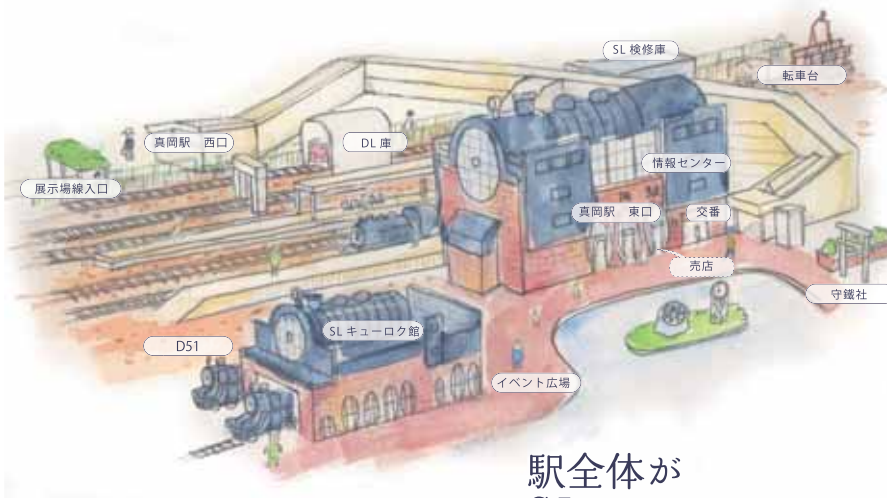
SLはこう見えてとってもデリケートなんです。音や匂い、温度の微妙な違いを感じ取って整備します。子どもを育てるように大切に大切に。経験がものをいうこともあり、ベテランを中心に丁寧な作業を心がけています。



SLキューロク館
初代館長
ゆあさ ようぞう
湯浅 陽三さん

SLがシンボル「真岡駅」と 「SLキューロク館」

SLの走るまち拠点施設「真岡駅」と「SLキューロク館」。館内に展示している9600形SLは、太いボイラー、短い化粧煙突、低い二つのドームにかたどられた、大正時代の代表的な蒸気機関車で、大変人気があります。キューロク館の施設名称は、9600形SLが「キューロク」の愛称で多くの人々に親しまれたことに由来します。展示の9600形SLは圧縮空気を動力源として動きます。毎週土曜日、日曜日および祝日には1日3回運行します。動く9600形SLは国内では真岡だけです。



駅全体が
SLミュージアム！

いつ来てもあつという間にタイムスリップできるところが魅力ですね。

私も学生のころ真岡線にお世話になっていたので、いま、自分の子どもと一緒に真岡駅を訪れることに感慨深いものがあります。また、目の前でSLの発車の瞬間を見るのは迫力満点ですね。



SLを見に遊びにきていた
たかせ ひであき
高瀬 英昭さん親子

2015年9月、D51-146号が静岡市から到着

D51は、日本の蒸気機関車の代名詞です。

主に貨物輸送に用いるため、戦時中大量に製造されました。戦後の日本の経済成長を下支えする役割を担うほか、旅客需要の増加に伴い、客車をけん引するなど、人々の身近な機関車として活躍を続け、その力強さと躍動感あふれる姿に、懐かしさを覚える方も多いことと思います。

今回、静岡市から譲り受けたD51-146号は、146番目に製造されたD51です。昭和13年11月に日本車両名古屋工場で製造され、昭和50年12月に引退するまでの37年間、北海道南、道央の長万部、室蘭、函館、岩見沢など、主要な路線で活躍しました。

真岡市は、静岡市所有の蒸気機関車、D51を無償で譲り受け、SLキューロク館敷地内に静態展示しています。

D51-146号

49671号

スハフ4425号



SL9600形49671号機(通称キューロク)とスハフ4425号、さらに静岡市から譲り受けたD51-146号機(通称デゴイチ)が、同じ時期に、北海道で走っていました。40年の時を経て3人(?)が真岡で再会したなんて、ロマンを感じませんか？

SLキューロク館 館長
いわみ まさお
岩見 和男さん



北真岡 SL・菜の花通り

北真岡駅の東側につづく「SL・菜の花通り」。4月中旬には満開の桜と、菜の花の中を走るSLを見ることができます。

今から35年ほど前、桜町(荒町4区)ができたときに、市が沿線にソメイヨシノを植樹したのが始まりです。1年を通して、菜の花の種まき、草取り、後始末までを地域のみんなで管理しています。見に来てくれる方が喜んでくれるのが一番！春の桜町千本さくらまつりでは、SL、桜、菜の花、そして桜町の山車、みこしの素晴らしい共演がご覧になれます。



真岡市荒町4区 区長
さとう ただし
佐藤 直さん



桜町公民館 館長
さかよりの ひでお
酒寄 英男さん

Ichiko and her family came to ride the steam locomotive. While Ichiko and her big brother were exploring the SL Kyuroku Kan, they met a talking cat. The cat told them that the steam locomotives used to travel through Hokkaido together. Just then, the locomotive arrived. Her big brother was delighted, but its power scared Ichiko. Even so, when they saw the cherry blossoms and field mustard flowers that spread outside the windows, they were both thrilled.

“Ichiko” 全家来乘坐SL。“Ichiko” 和哥哥在“SL96馆”中探险时，遇到了一只会说话的猫。这只猫给他们讲了SL们在北海道风驰电掣的故事。就在这时，SL开过来了。哥哥兴高采烈，而“Ichiko”却因为SL呼啸而来忽然感到害怕。但是，当两个人看到窗外漫天开放的樱花和油菜花，又变得欢天喜地起来。

‘Ichiko’ e sua família foram andar na Locomotiva a vapor (SL).No momento em que ‘Ichiko’ e seu irmão mais velho foram visitar o ‘SL KYUROKU KAN’, encontraram um gato falante. O gato comentou que todas as locomotivas (SL) corriam na província de Hokkaido. Neste momento, a locomotiva (SL) chegou. O seu irmão ficou contente. Enquanto isso, ‘Ichiko’ ficou com medo da potência e do tamanho da locomotiva. Porém ao avistarem o panorama das flores de cerejeiras e das flores de mostarda de campo que expandiam pela janela, os dois ficaram muito felizes com a paisagem.



もおかもめん
真岡木糸のおひなし



きょうは「もおかもめんファッションショー」を
みにきました。みんなきれいなきものにうっとり。
するととつぜん「あ！」と、おにいちゃん。
あのくろねこです。いちこもきづいたようです。



おにいちゃんと いちこは
そっと、ねこをおいかけました。
「みつけた！」
「ねこ、ぬの もってる！」

「もおかにすむねこは みんな、もおかもめんを
いちまい もっているのさ。」

そういって、ねこは ばさばさっと
ぬのを ひろげて みせてくれました。

「これは ほくが こねこだったころの
おもいで。」

「へえ!」「へー。」



むかしむかし このあたりには
わたの はたけが たくさんあった。
わたから「もめん」という
ぬのを つくっていたんだよ。



かわで もめんを
さらすのも
よくみたなあ。





「もめん」といえば「もおか」というくらい
もおかの もめんは だいにんきだったんだ！
えどのひとつたちは みんな もおかもめんを
きていたのかも しれないね。



それから じだいが かわって
がいこくから やすい いとや
ぬのが はいってくるように なった。
「もおかもめん」は だんだん
つかうひとも つくるひとも
いなくなって いったんだ・・・

「ま、こんなところさ。」

おにいちゃんは、あれ？とおもいました。

「でもさ、もめんの ファッションショーを みたよ。

もめん、いまも つくっているよ。」

「そうだね じつは…」

ねこが こたえようと したとき…

「いちこー、おにいちゃーん！」



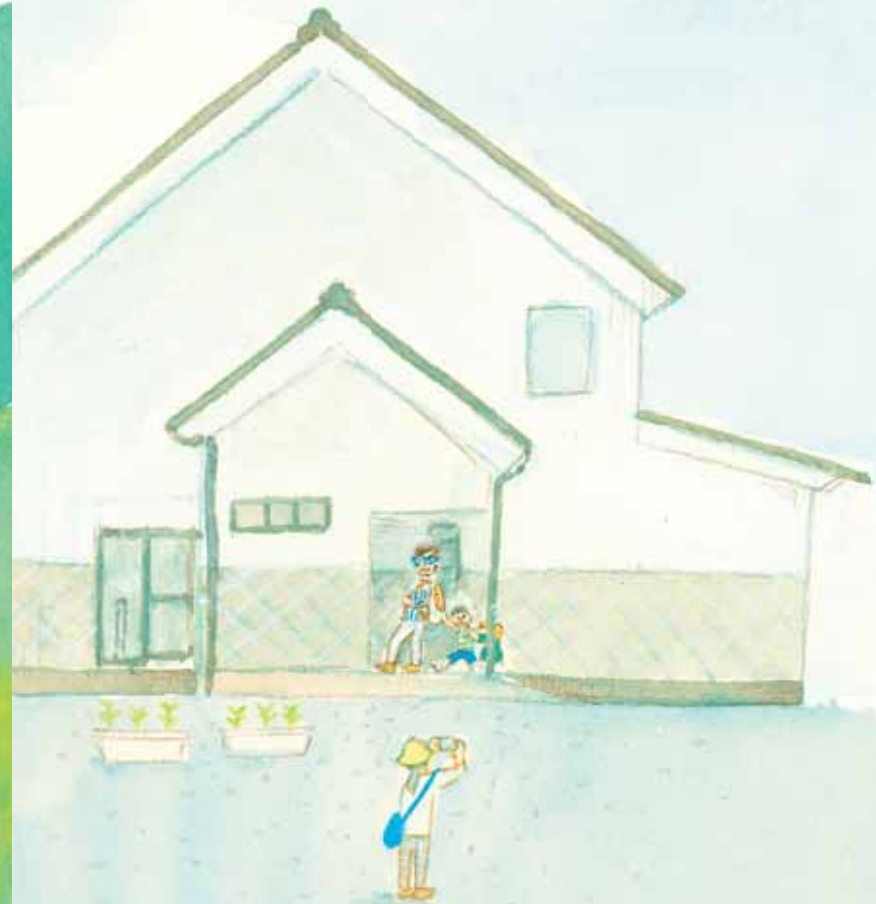
「いきなり はしりだすから
びっくりしたじゃない！」
「どうしたんだい？」
しんばいそうな
おとうさんと おかあさんです。
「ごめんなさい。」と おにいちゃん。



「もめんかいかんに いってごらん。」
おにいちゃんと いちこにだけ きこえる
ねこのこえです。

「もめんかいかん！」「もめんかいかん！」

もめんかいかんは くら のような
たてものでした。

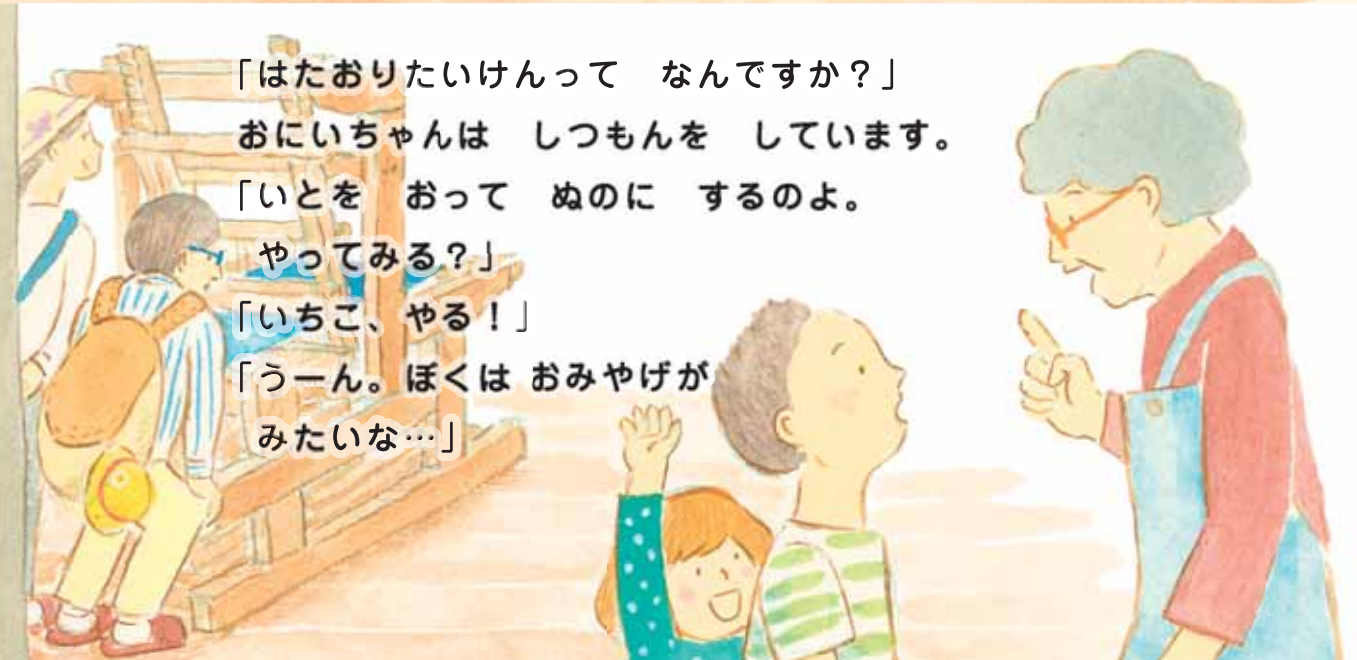





「もめんって むかしのひとが つくっていたんでしょ？」
おにいちゃんは おとうさんに ききました。
「そうそう。よくしってるなあ。でもね、いまのひとが
このぎじゅつを のこしたいって がんばってるんだよ。」
「へえ！」



はたおり
たいけん
やります。



「はたおりたいけんって なんですか？」
おにいちゃんは しつもんを しています。
「いとを おいて ぬのに するのよ。
やってみる？」
「いちご、やる！」
「うーん。ほくは おみやげが
みたいな…」

An illustration showing a woman with dark hair in a ponytail, wearing a white long-sleeved shirt, sitting on a wooden stool. She is looking towards a young child with short brown hair, wearing a blue and white polka-dot shirt. The child is leaning over a large wooden loom, which is set up on a wooden table. The loom has many threads stretched across it, and the child appears to be working on it. The background is a simple, warm-toned room with a window. The overall style is soft and illustrative, typical of a children's book.

いちこは おかあさんと はたおりたいけんを しています。
「ここを とおすんだって。いちこ、そっちから とれるかしら？」
はたおりきと たくさんの いとに、いちこはわくわく。
カットン コットン
さて、なにができるのでしょうか？

おにいちゃんと おとうさんは
おみやげを えらんでいます。
「これ、おかあさんの エプロンのいろ！」



「いちごがつくれたんだー。」
いちごはずっと にこにこ しています。
「かわいいコースターが できたね。」
と おとうさん。
「ほくもつくりたいな！
みんなのぶん、つくってあげるよ！」
「うふふ。たのしみ。また いこうね。」
おかあさんが うれしそうに いいました。





江戸時代には年間38万反を生産し、 木綿問屋がこぞって求めた「真岡木綿」

江戸時代「真岡」といえば、そのまま木綿の代名詞となっていました。丈夫で質が良く、絹のような肌触りの真岡木綿は絶大な人気を誇り、江戸時代の文化・文政・天保のころには年間38万反を生産し、隆盛を極めました。

当時、江戸の木綿問屋は、こぞって真岡木綿を求め、関東木綿の仕入れ高の約8割が真岡木綿であったという記録(真岡市史)があります。しかし、開国による輸入糸流入などにより、徐々に衰退してしまいました。その後、昭和61年に真岡商工会議所が中心となって真岡木綿の「復興」に着手しました。最初はうまくいかないことが多かったのですが、現在では13人の織姫が昔からの伝統を受け継ぎ、新しい感覚で真岡木綿をよみがえらせました。そして、綿花の栽培、糸紡ぎ、染め、織りまでをすべて手作業で行う木綿本来の風合いを、今に伝えています。



真岡木綿問屋前のにぎわい
(金鈴荘所蔵のうちわ)



真岡木綿を扱う問屋の商標
(塚田元成氏所蔵)



上質の晒木綿(福原呉服店所有)



昭和30年代ごろの機織り風景(広瀬氏所有)



『綿の実』

木綿(もめん)は、綿花の種子から取れる繊維のことで、綿花は開花後、成熟したさくが開裂し、綿毛に覆われた種子が出てきます。春に種をまき、秋に実を付ける一年草です。

【栽培時期】

種まきは5月上中旬頃で、開花は7月頃、収穫は10月頃。

綿花栽培は、一つひとつが手作業です。「いい綿になって」と心を込めて作っています。台風などの災害や害虫に悩まされることも少なくありませんが、秋に収穫した綿をながめている何気ないひとときに幸せを感じます。



綿花生産
さとう よしお
佐藤 義男さん

江戸時代初期、銭湯の普及に伴って、江戸では浴衣が大ブームとなりました。真岡木綿は、染め上がりの評判が良かったので、浴衣として好んで使われるようになりました。江戸時代後期、荒町にあった真岡木綿問屋の塚田家と小宅家が江戸への取引を行い、真岡木綿は爆発的な広がりを見せました。しかし、天保の改革によるぜいたく禁止令をきっかけに、真岡木綿もその制限を受けてしまったそうです。



真岡木綿を研究している
うえはら よしお
上原 祥男さん



綿の種取り

摘み取られた綿から種を取り除く作業です。



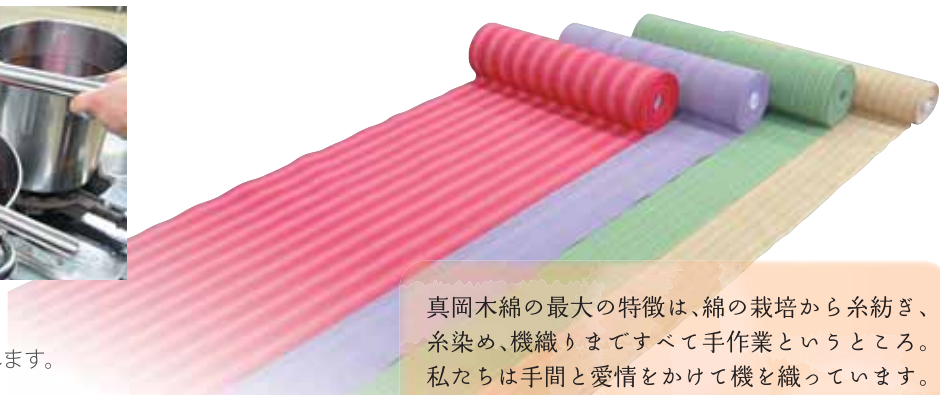
糸紡ぎ

種を取り、繊維をほぐした綿を糸車を使って紡ぎ、糸にします。



糸染め(染色)

草木や藍、化学染料で染色します。



真岡木綿の最大の特徴は、綿の栽培から糸紡ぎ、糸染め、機織りまですべて手作業というところ。私たちは手間と愛情をかけて機を織っています。是非、手にとって、真岡木綿の良さと温もりを感じてください。



綜統通し

男巻きした経糸を、機の手前に取り付け綜統通しをします。これは、針金の途中にある輪の中に糸を通す作業です。



機織り

経通した糸を、織り機の手前の布に固定し、織り始めます。踏木を交互に踏みながら、綜統を上下させ、その間に杼(シャトル)を使って、緯糸を一本一本入れながら布を織っていきます。



染色工房



生産・見学工房



真岡木綿会館 織姫代表
栃木県伝統工芸士
花井 恵子さん

真岡木綿は、故きを温ねて新しきを知る。まさに温故知新だと思えます。織り手の愛情が感じられ、着物の着心地も肌にしっとりなじむので、何度も着たくなりました。ペンケースなどの小物もおすすめてです。



ミスコットン 2014
なかた ゆうこ
中田 祐子さん



名刺入れ



箸入れ

Ichiko and her family went to see the Moka Momen fashion show. There, a talking cat told them that Moka Momen had been in fashion during the Edo period. "Go to the Moka Momen Kaikan," said the cat. Everyone went to the Moka Momen Kaikan, where they learned that Momen (cotton) is still being made today. Ichiko tried weaving and made a cute coaster.


"Ichiko" 全家来观看真冈木棉的时装秀。在这里，那只会说话的猫告诉Ichiko "真冈木棉" 在江户时代就已经流行了。猫建议说："你们可以去看看 '真冈木棉会馆' 啊"。于是，大家去了 "真冈木棉会馆"，并了解到现在仍在生产木棉。"Ichiko" 初次尝试了织布，还制作了非常可爱的杯垫。

`Ichiko` e sua família foram assistir o desfile de modas do Moka Momem (Algodão de Moka). O gato falante explicou que o `Moka Momem (Algodão)` era a moda na era de EDO. Gato disse: Visitem o Moka Momem Kaikan`, e todos foram visita-los. Eles descobriram que o fio de algodão ainda é fabricado, e `Ichiko` experimentou a tecelagem e confeccionou um lindo porta copo.



いちごのおはなし

きょうは みんなで いちごりに やってきました。
つみたての いちごの おいしいこと といたら！
おにいちゃんも みんなより おおきないちご を
さがそうと しているようです。



おかあさんが おみやげようの いちごを つんでいるあいだ
いちごたちは そとのベンチで ひとやすみ。
おとうさんは うとうと しています。
すると 「おにいちゃん！」
いちごが ひそひそこえて いました。

「あ!!!」
あの くらねこです。
「ねこ つまみぐい!!」
いちごは うふふと わらっています。

「つまみぐいじゃなくて
けんきゅう さ。」
そうって くらねこが
えだを さつ と ふると
ビニールハウスに え が
うかびあがりました。

もおかのいちごの
けんきゅう(くらねこしずべ)

はる ☀
←「たいせつ」
「たいようのみがり」
もおかは
ほれのじかんが
ながい

なつ ☀
「なえ」をそだてる

あき 🍁
ハウスに
「なえ」を
うえる



←「たいせつ」
「ちがすい」が
たくさん
あること

のびた うる をきりはなして
「なえ」をそだてる
ひやしたりして、ふやに
いちごがみのるようにする

つちを
ビニルで
おおう
つちのおんどを
たもつよ

「わあ! すごい! ...なにになに?」
おにいちゃんは せつめいを
よみはじめました。

ふゆ

ほながさいたら
ミツバチのぞばん



→ →
がふんをめしべに
はこんでもらう

「じゅふん」といいます。



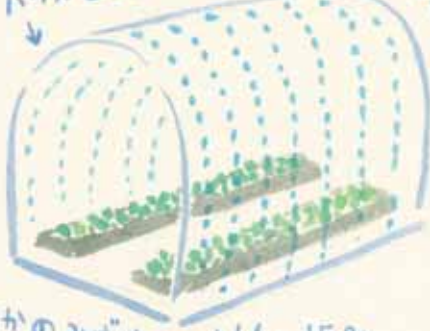
いちごが
みのる!!

すごいひみつ



ホーホーカーテン

ハウスせんたいりにみずのカーテンをつくる



ちかのみずは、いつも14~15℃
だからさむいふゆのみでも
こうするとあたたかいんだよ。
(かんきょうにも、いいんだって!)

こうして

いちごは、にほん
ぜんこくへ。



これはしってるよね
もあかは、にほんで
いちばんたくさん
いちごをうらっているよ!

まだあるひみつ



さしのたがさの
いちごばたけ



ずとしゃがんでしごとを
するの、すごくたいいなんだって。
にんげんは、いろいろ
くふうをするね。



「みつばちが おてつだいしているんだあ。」
「にほんいち、すごーい。」
ねこは じまんげに いちごを
たべています。
「ふむふむ…」
どんどん よみすすめていくと…

どんっと なにかに
ぶつかりました。
めを あけると
そこには





まっかで つやつやです！

「いちごだ！」



「あ！ おじさん ごめんなさい。」

おじさんは にっこり。

「だいじょうぶだよ。」

そこに おとうさんと

おかあさんも やってきました。

そのとき、『そのしたのはこ…』

ねこが そっといいました。

おにいちゃんと いちごにしか

きこえなかったようです。

「おじさん そのしたの はこ…」

「お、これかい？」

おじさんは ひょいっと したにもっていた
もうひとつの はこを みせてくれました。

「まあ！！」「わあ！」

「おっきいー！」「ぴかぴかー！」



そこには いままで みたことのない
とっても おおきな いちごが ならんでいました。

「もぐ… とちおとめ」

「こっちは スカイベリーって いうんだって。」

おじさんに おしえてもらった いちごの なまえです。

「あら、もう おほえたのね。」

「らいねんは いちごを そだててみようかなあ。」

おとうさんが つぶやきました。

「ほくも！ いちご てつだう！」

「いちこもー！！」





質・量ともに「日本一のいちご」

真岡市のいちごは、年間生産量がおよそ7,000トン、年間販売額がおよそ71億円です。(JAはが野調べ 平成26年産)
品種改良や栽培技術の向上に長年取り組んできた研究機関の方々や新鮮高品質の栽培指導、流通ルートを開拓した方々、そして真夏の炎天下での育苗や、厳寒の中での収穫作業などに励んだ多くのいちご農家の人たちの努力によって「日本一のいちご」を結実しました。



今、最も多く生産されているのがとちおとめですが、昭和30年代はダナーという品種が全国的に普及し、真岡でも急速に広がっていきました。そして昭和43年からずっと、いちご生産量日本一の座を守りつづけ、今でもおよそ500世帯のいちご農家さんが手塩にかけながら育ててくれています。

JAはが野 営農部
けんもく もりお
見目 守生さん

真岡のいちご栽培の歴史

真岡のいちごは昭和32年、市南東部にある東物井地区の農業研究に取り組む農家の人たちの手によって、栽培が開始されました。

その後、ビニールを使ったトンネル栽培やパイプハウス栽培などの研究を重ね、昭和59年ごろ、水を霧状にしてハウス内を温める「ウォーターカーテン」を導入しました。それにより、単棟ハウス栽培の低コスト省エネルギー化を実現するなど、めざましく発展してきました。

また、品種についても当初のダナー種から「宝交早生」、「麗光」を経て、昭和59年から「女峰」が本格的に栽培されました。平成8年からは、甘く粒も大きい「とちおとめ」が主要品種となり、現在はさらに粒の大きい新品种の「スカイベリー」も注目されています。

昭和31年のころ、父をはじめ、旧二宮町の農家数軒でいちごの栽培をスタートしたのが、真岡市のいちご発祥です。当時、足利市で唯一栽培していた方をオート三輪車で何度も訪ね、教えを請うたと聞いています。



いちご生産者
いの つとむ
猪野 力さん



いちごは
果実?
野菜?

知ってる? いちごの豆知識

「いちご」はバラの仲間です。食べ物としては「果物(果実)」に分類されますが、作物としては野菜に分類されます。このため「いちご」は「果実的野菜」とも呼ばれるんだよ。

いちごは
冬の
果実?

「いちご」は夏の季語。露地で育てたいちごは、初夏に真っ赤な実をつけます。ハウス「温室」栽培の普及などにより、秋から「いちご」が収穫できるようになりました。「いちご」に冬のイメージが定着したのは1980年代後半からで、クリスマスケーキの影響なんだよ。

とちぎ生まれの「いちご」

「いちご」といってもたくさんの品種(種類)があり、なかでも「とちぎ生まれのいちご」たちは、すぐれた特性を持っています。そんな、とちぎ生まれのいちごを紹介します。

とちおとめ

果実は「女峰」よりも大粒で甘みが強く、果肉がしっかりとしていることから、東日本中心に急速に作付面積が拡大しました。現在は、「女峰」の跡を継ぎ、いちごを代表する品種として国内で最も多く栽培されています。(1996年～)



とちおとめ(実物大)

スカイベリー

「とちおとめ」に比べて果実が極めて大きく、外観が優れ食味の良い新品种です。果実は大きな円錐形で、果皮は濃橙赤色でツヤがあります。糖度が高く酸味はやや低め。まろやかな甘味が特徴。今後期待される品種です。(2014年～)



スカイベリー(実物大)

とちひめ

大粒で甘みが強い反面、果肉が軟らかく、とてもデリケートです。栃木県内のみで栽培されています。(2001年～)

なつおとめ

夏から秋にかけて収穫できるいちごで、収量が高く、秀品率(正形果率)が高いのが特徴です。果実品質に優れ、断面は淡赤色で、スライスした際の見栄えもとても綺麗です。(2011年～)

女 峰

冬の早い時期から品質の良い実を沢山つける品種として育成されました。甘酸っぱい味が特徴で、さらには色が鮮やかで外観がよいため、ショートケーキなどにも使われていました。こうした優れた特性が高く評価され、「いちご」を代表する品種として2001年頃まで東日本の主力品種として栽培されました。(1985年～)



農業者だからできる、いちごを通じた食農活動を20年以上続けています。おいしいいちごを作ることはもちろんですが、農業の大事な役割を知ってもらうことも大切です。小学生の体験学習や高校生・大学生の研修の受け入れも積極的に行っています！

猪野さんちのいちご農園
いの まさこ
猪野 正子さん

両親がいちごの苗栽培を始めて24年。真岡市の苗を一律に引き受けています。寒い時期はハウスの中にさらにハウスを作ったり、ストーブで温めたり。大変ではありますが、日本一のいちごを支える、縁の下の力持ちとしてがんばります！

ストロベリーファームおあつか 代表
おあつか たかひさ
大塚 貴久さん



Ichiko and her family went to pick strawberries. While they were taking a break, a talking cat told them about how strawberries are grown, such as the tricks vinyl houses use to help plants survive the cold, and the way honeybees help. They met a man who was making "Skyberries," big, red, glossy strawberries.

"Ichiko" 全家来摘草莓。中途休息时，那只会说话的猫给Ichiko讲了如何种植草莓，比如改善用于耐寒的塑料大棚，或帮助蜜蜂传播花粉等。后来大家还遇到了种植红艳的大个草莓“天空莓”的大叔。

Ichiko e sua família foram colher morangos. Ao descansar, o gato falante explicou sobre a maneira de se cultivar os morangos, a função da estufa como proteção contra o frio, sobre o trabalho das abelhas etc. Depois, encontrou-se com o agricultor que cultivava um tipo de morango grande, vermelho e brilhoso, chamado "Skyberry".



ぶっしょうじ けやき

仏生寺 欒【県指定天然記念物】

仏生寺は、日光を開山した勝道上人の誕生地であることに由来します。境内全域が「日光開山勝道上人誕生地」として県指定史跡とされています。また、山門の両脇に立っている対の欒は県指定天然記念物となっています。

◎真岡市南高岡259

樹齢およそ800年。むかしは近所の憩いの場、子どもたちの遊び場として欒を囲んでいたそうです。毎年元日には、薬師堂に安置してある薬師如来座像(通称:お薬師さん)のご開帳があります。春には桜、5月は新緑が見ごろをむかえます。散策できる巡礼コースもあります。

仏生寺 住職 なかがわ ちがく 中川 智学さん

さくらまちじんやあと

桜町陣屋跡

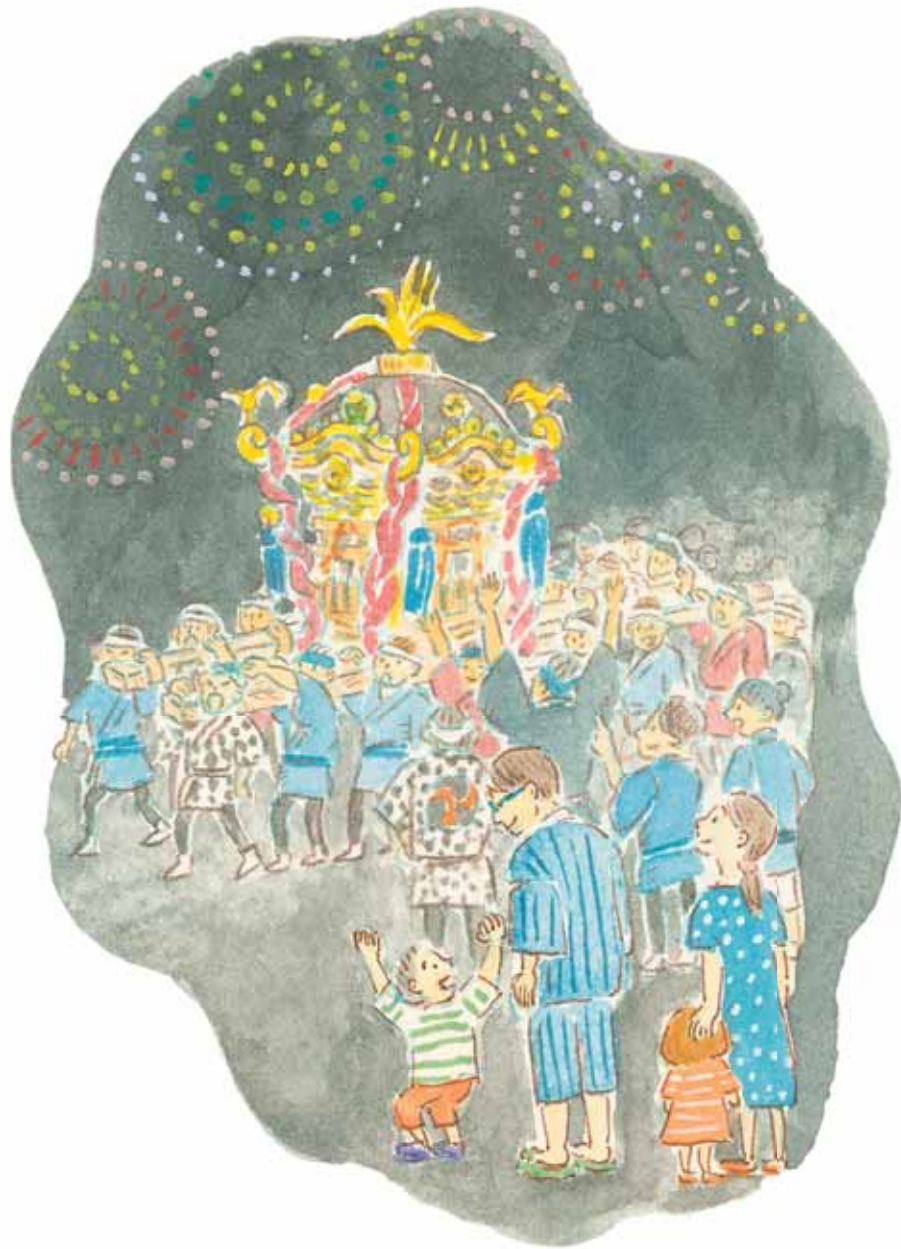
小田原城主大久保加賀守忠朝おおくぼががのもりただともの三男宇津教信のりのぶが1699年分家しこの地に桜町陣屋を創設しました。1823年に桜町領内が疲弊した為、小田原藩主大久保忠真の命を受け、二宮尊徳たださねが桜町復興のために赴任し、26年にわたりこの地で執務をとりました。

◎真岡市物井2013-2

二宮尊徳が、家族とともに暮らし偉業を成しとげた場所です。陣屋の板戸には尊徳が筆で書いた字がいくつも残されています。ここ蓮城院は尊徳が再建したもので、娘の文子や多くの弟子たちが眠っており、尊徳の墓碑も拝めます。

あらかし としみつ
蓮城院 東堂 荒木 俊光さん





真岡の灯ろう流し

8月15日の夕刻から、行屋川水辺公園で開催されます。川岸の遊歩道には、千本灯明とかがり火が灯され、川面には先祖の供養や世界の平和を願うおよそ4,000個の灯ろうが静かに漂います。幻想的な雰囲気の中、市民による歌声や演奏が流れ、郷愁を誘います。

先祖や生まれ育った真岡の地に、感謝の気持ちを込めて流します。ゆらゆらとした灯りが川面に映り、4,000個もの灯ろうがゆったりと流れていく様子は、平穏な気持ちにさせてくれますよ。

やまぐら ただし
真岡商工会議所 青年部 会長 山口 正さん

真岡の夏まつり

真岡の夏まつりは、7月下旬の金・土・日曜の3日間にわたり開催されます。夏まつりの2日目には、「花火大会」「お祭り広場」「神輿川渡御」が同時に開催され、本社・荒宮神輿をはじめ、子ども神輿、各地域神輿、中学生の手作り御輿など20基以上の神輿渡御や各地域の山車・屋台、お囃子などが祭りに華を添えます。また、3日目には、火と太鼓と勇壮なる神輿・山車の渡御を融合した「宮入献灯」が開催されます。

迫力を感じるなら2日目がおすすすめ。水しぶきを上げながら、五行川に神輿をかついだ男衆が入水する神輿川渡御は一見の価値ありです。祭りをじっくり楽しむなら3日目の宮入りもご覧ください。

すずき まさゆき
真若 会長 鈴木 正行さん



高田山 専修寺の涅槃像

専修寺は、鎌倉時代に親鸞聖人が関東布教中に一堂を建て、長野の善光寺より一光三尊仏を迎えて本尊にしたのが始まりと伝えられています。国の重要文化財である御影堂、如来堂、楼門、総門が建つほか、親鸞聖人の高弟である真仏上人、顕智上人の坐像も国の指定重要文化財に指定されています。

◎真岡市高田1482

嘉禄元年(1225年)に親鸞聖人が浄土真宗の本山を開かれた、本寺専修寺。その後、三重県津市へ本山を移転しましたが、同寺院には親鸞聖人の歯骨が埋葬されており、お墓には誰でもお参りいただけます。

高田山専修寺 輪番 鈴木 明信さん



大前神社の彫刻

大前神社は、1,500年余前、雄略天皇の御代鎮護国家・殖産開拓の守護神として鎮座され、神護景雲年間には荘厳な社殿を造替しました。そして、醍醐天皇の勅命により、延喜式内社に選ばれました。御祭神は大国様とえびす様で、彫刻色彩が見事な社殿は、正面はもちろん、裏側も見とれてしまう程の彫刻群です。

◎真岡市東郷937

社殿の彫刻は、棟梁藤田孫平治、工匠島村円哲たちによりなされました。その特徴は、第一に、「水の恵みと水神」を配し、第二に、霊獣・霊鳥を配し神様の力の広大さを表し、第三に、限りある人生の理想の生き方として、「仙人」を配しています。ぜひ、ご拝観ください。

大前神社 柳田 耕史さん



久保記念観光文化交流館

「久保記念観光文化交流館」の建物は整備前、その所有者が久保家であることから、「久保邸」と呼ばれていました。この地区は、1347年の真岡城築城に伴い建立されて3つのお寺に囲まれた、いわゆる門前町であり、大正・昭和の時代には、料亭や芸者置屋などがあり、華やかな賑わいを見せていた地区でした。しかし、時代の変遷とともに、多くの建造物が失われていき、明治、大正、昭和の古き良き時代を知る建造物は、市所有の岡部記念館「金鈴荘」とこの「久保邸」を残すのみとなっていました。古き良き時代を感じられる建築物が並ぶこの空間は、さまざまな魅力に溢れています。

◎真岡市荒町1105-1

久保貞次郎は、子どもたちが絵を描くことを通して健全な成長をうながす「創造美育」を推奨しました。久保記念館では、瑛丸や池田満寿夫、北川民次といった大変貴重な作品が無料で観覧できます。明治40年築のこの建物とともに楽しんでください。

久保貞次郎研究所 代表 わたなべ としひろ 渡邊 淑寛さん



真岡・浪漫ひな飾り

国登録有形文化財に指定されている真岡市の久保講堂でつり雛や雛人形を飾り、日本古来の技術と伝統を鑑賞していただくものです。会場は、数え切れないほど沢山のつり雛と段飾りが華やかに彩られています。春の到来を告げる華やかなひな祭りは、日本の伝統文化を感じることができます。

◎久保講堂 真岡市田町1345-1

真岡井頭温泉

年間33万人が来場する「真岡井頭温泉」は北関東最大級の公営日帰り温泉施設です。地下1,500mから湧く太古の湯は、温まりやすく冷めにくいのが特徴です。平成27年4月には、第2源泉から湯をくみ上げ、新しいお湯になりました。人の「健康と美」をテーマに天然温泉の露天風呂、グルメ、バーデプール、スタジオレッスンなど、「癒し」と「体力づくり」を同時に楽しめます。

◎真岡市下籠谷21

井頭温泉は、数千年前の海水が地熱で温められたもので、保温効果が長く続き、寒い時季もポカポカ。時間があれば、バーデプールとの併用がおすすめです。スタッフの方が笑顔で迎えてくれるし、館内が清潔なのも、利用者が多い理由かな。

井頭温泉をご利用されている なかつ 仲田 よしみさん のぐち えつこ 野口 悦子さん

いちごめぐり
もおがマップ

↑ 井頭エリア

灯ろう流し
川岸の遊歩道に
千疋灯明とかがり火が
火だれ、灯籠飾りです...

SL菜の花通りは...
この通り!!

日寺一太いぶす様!!
大前神社
千五百有余年の歴史がある
延喜式内社、御祭神は
日御杵と天杵様。

北山馬車
西田井馬車
至益子 →

工業団地
豊かな自然と
高速交通ネットワーク

SLの形の馬車台
本館内のSL博物館
は9600形E
電力保存しているよ!

久保記念観光文化交流館
特産品の観光までおまかせ!

真国木造会館
細子さんの技術が見学できる!
体験もできる!

東京ドーム
20個分の
広さ!

井頭温泉
地下1500mの
天然温泉、目の
露天風呂もあるよ。

井頭公園
豊かな自然と
かわいくレジャー施設

おくら娘
新鮮な野菜、果物、
切花、お惣菜などなど!

井頭銀いちご園
いちごが時間無制限
食べ放題!

行屋川
両岸に樹齢約80年の
ソメイヨシノが咲きます。
夜はぼんぼりが
いい雰囲気!

石炭山
旧石器時代の石炭山遺跡
があります。
頂上の広場からの
ながめは必見!

根本山
中心施設の
「根本山自然観察センター」
では、自然とふれあえる
イベントを年を通して行なっ
ているよ!

生産農家150名の
じまんの作物!

フミトリやすい
高設ベンチ設計の
ハウスもあるよ

もおが憩地公園
ゴルフ倶楽部

憩地水辺観察センター

トンボの池
水辺に暮らす
生き物たちを
観察できるよ!

寺内馬車

294

408

真国線
真国駅

五行川

おまのスポーツが
点在。春には
99人のびにぎわい。

桜町陣屋跡
二宮尊徳がここで
26年間一家と時に
暮らし、偉業をなしとげた

真修寺
親上人が創建のお寺。
浄土真宗 梵神の
根本大講場として使われる。

全長3.8km
利根川の支流で
2番目の長さ!

仙生寺
日光を開山した
勝道上人誕生の地と
伝えられている。
山門の両脇に一対の
大ツバキ。

おまの憩地

憩地川

↓ 至下館

いちこのもおかびより日和

2016年3月発行

[編集発行] 真岡市 総務部 秘書課 広報広聴係 〒321-4395 栃木県真岡市荒町5191番地 TEL:0285-83-8100

[企画監修・印刷・製本] 株式会社 協栄社 〒321-4305 栃木県真岡市荒町5133番地1 TEL:0285-82-9000

[さく・え] アライ マツヤ



真岡市役所HPは
こちらから